

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設モニタリング票 (評価対象年度: 令和6年度)

施設の名称	名取市増田児童センター
指定管理者の名称	特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ
施設所管部課(室)	健康福祉部こども支援課

1. 管理形態の推移 【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)	摘要
昭和47年4月3日～平成26年3月31日	直営		
平成26年4月1日～平成28年3月31日	管理受託	特定非営利活動法人子育て応援団ひよこ	
平成28年4月1日～	指定管理者	特定非営利活動法人子育て応援団ひよこ (H29.8.3名称変更 特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ)	

(注) 管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要 【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ
	所在地	名取市みどり台三丁目19番地の4
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年0ヶ月)	
募集方法	公募 ・ 非公募	

3. 施設の概要 【施設所管課記入】

施設の名称	名取市増田児童センター
所在地	名取市増田三丁目9番56号
設置年月	昭和47年4月
根拠条例等	名取市児童厚生施設条例、名取市放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例、名取市放課後児童クラブ実施条例、名取市児童館管理規則、名取市放課後児童クラブ実施条例施行規則
設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにするため児童福祉法第40条に規定する児童厚生施設を設置する。
施設の内容	静養室、集会室、図書室、クラブ室、遊戯室等
開館時間	月曜日～金曜日: 午前9時(小学校等休業日は午前8時)～午後7時
休館日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)
指定管理者が行う管理運営業務	放課後児童クラブ業務、自由来館業務、地域子育て支援拠点事業(一般型)、地域子育て支援事業(出張サロン)、名取市ファミリー・サポート・センター業務、地域活動クラブ業務、相談業務、各種行事及びクラブ活動の実施、自主事業の実施、児童センターだよりの発行(月1回、原稿等の企画構成)、小学校への長期休業時の利用周知
利用料金制度	採用の有無 有 ・ 無
	利用料金の名称

4. 施設の利用実績 【指定管理者記入】

	評価対象年度（A）	前年度（B）	前々年度	評価対象年度の 対前年度比（％） （A） / （B）
	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	
開館日数	295日	294日	294日	100.3%
延べ利用者数	61,691人	58,028人	49,499人	106.3%
利用者数（人/日）	209.1人/日	197.4人/日	168.4人/日	105.9%
主な増減原因	増田小学校の児童増加、中学生の利用人数増加			

（注）対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

5. 管理運営の収支状況 【指定管理者記入】

（1）収入

（単位：千円、％）

	評価対象年度（A）	前年度（B）	前々年度	評価対象年度の 対前年度比（％） （A） / （B）
	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	
指定管理料	48,827	47,827	47,827	102.1%
利用料金収入				
その他	1,446	1,254	2,921	115.3%
収入計（ア）	50,273	49,081	50,748	102.4%

（2）支出

人件費	40,773	41,864	41,900	97.4%
施設管理費	2,339	2,100	2,696	111.4%
事業運営費	4,180	4,032	5,004	103.7%
その他	1,587	907	1,148	175.0%
支出計（イ）	48,879	48,903	50,748	100.0%

（3）収支

収支（ウ）＝（ア） －（イ）	1,394	178	0	783.1%
前期繰越収支差額	4,680	4,502	4,502	104.0%
次期繰越収支差額	6,074	4,680	4,502	129.8%

6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み 【指定管理者記入】

放課後児童クラブ、自由来館小学生共に利用数が例年増加傾している。その増加に合わせ、過ごし方や遊び方については工夫をしながら事業を行っている。日頃から、児童の力を頼りながら一緒に事業を展開したり、活動について話し合ったりしていくことにより、保護者や地域の方々に児童の主体的な姿を見ていただけているように感じる。

例年中高生世代の利用が増加している。中高生世代の子どもたちが児童センターを身近に感じることができるよう今年度は遊び場の提供だけではなく、中学生主催の地域行事を実施したり、乳幼児親子との交流や次世代育成の観点で託児体験を行ったりした。

乳幼児の利用については、小学生の長期休業中など時期や季節により利用数が減少する傾向がある。やっと定着した利用者が足が遠のいてしまわないよう小学生長期休みにも行事を行ったり、発達段階に応じた家庭でもできる運動遊びを日常のひろば内で定期的に行ったりして支援の積み重ねを止めないよう継続性のある取り組みも行った。訪問型子育て支援ホームスタート、ファミリー・サポート・センター事業では、地域の子育て情報や子どもの対応に関することについて学び合いをおこなった。また、地域ボランティアを含むボランティア同士の交流を行い、繋がり作りからボランティア育成むけた取り組みを行った。

7. 施設利用者の主な声やその対応状況 【指定管理者記入】

児童の声としては、友だちがいるから児童センターを利用しているという声が多かった。友だちとの出会いの場、集まれる場として利用している児童が多いことを感じる。活動や行事についてのアンケートを実施した際も様々な意見があり、児童センターに対する期待を感じる。中高生世代は、広い遊戯室を使用できることが好評の様子。また、中学生主催で行ったお化け屋敷は、児童センターを身近な場所に感じてもらうことができる良い機会になったようだった。

保護者の声として、アンケート等により、職員の対応については概ね好印象をいただいている。主に個別対応については、利用児童が多い中でいかに迅速かつ適切な対応ができるかが求められている。中には職員が把握できていなかったトラブルあったり、困りことや要望などなかなか職員に話せない保護者もいたことにあとから気づくこともある。そのため、児童や保護者との風通しの良い関係づくりができるよう努めている。

8. 施設の管理運営における課題 【指定管理者記入】

過ごし方や環境づくりが課題となっている。増設を重ねているものの、庭がないため、学校行事等の都合等により室内のみで過ごさなければいけない状況の日がある。人数が多く、児童自身もののびのび遊ぶことができない場合がある。駐車場がないため、送迎の際には市役所を案内しているが隣接する小学校の職員駐車場を使用してしまう利用者がいる。

土曜利用についても40名の定員を超えて受け入れる日がでてきており、職員の配置に関して苦慮している。

子育て支援事業について、乳幼児親子からの日常的な声や相談を聞くことはあるが、利用者アンケートへの回答数が少ない。より身近で積極的な発信が必要。

9. 管理運営状況 【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己 評価	所管 評価
1. 実施 体制に 関する 評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	○	○
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	○	○
	施設等の維持 管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
	個人情報の 保護	個人情報の管理を適切に行っている。	○	○
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
	法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○	○
		開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
		労働条件等に関する労働関係法令等が遵守されている。	○	○
		その他、関係法令等が遵守されている。	○	○
2. サー ビスの 内容や 水準に 関する 評価	指定事業の 実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	○	○
		業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。	○	○
	自主事業の 実施	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○
	利用者の満足 度向上	利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	○	◎
	利用者の苦情、 要望等の把握 とその対応	利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	○	○
		苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	○	○
	利用状況等	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	○	○
3. 経営 状況に 関する 評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

【評価の基準（目安）】

評価		評価の考え方
◎	（優 良）	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	（良 好）	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	（課題有）	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	（要改善）	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「―」を記入する。

10. 施設所管課の総合評価 【施設所管課記入】

施設利用者が多い中、充実した時間を過ごせるよう児童自らがルールを作るなど児童の自主性を伸ばす取り組みを行い、土曜利用についても児童及び保護者のニーズを捉えながら職員配置を工夫し安全、安心な施設管理及び運営をしていることは評価できる。

また、ファミリー・サポート・センター事業や地域子育て支援事業など個別ニーズに対応できるようボランティアと共に学び合いの機会を設け、事業の効果を向上させる取り組みも評価できる。

今後も、利用者の安全、安心の視点を優先しながらもニーズに寄り添った施設管理及び運営に努めていただきたい。